

平成31年度 第2学年学年経営方針

[学年目標]

「形は心を作る。心は形に表れる。」「当たり前のことを当たり前にやる。」

1. 1年次に一定に身についた学習習慣、生活習慣をより確実なものとする。
 - ① 時間のけじめをつける。
 - ② 授業を大切にす。
2. 中堅学年としての自覚を持ち、あらゆる学校生活の場において学校を支える立場になっていけるように活動に取り組む。
 - ① 責任ある行動を取る。
 - ② 仲間を大切にして、協力して物事に取り組む心を育てる。

[指導の重点]

1. 学習指導
 - ① 授業規律を定着させ、授業に集中して取り組み、進路に向かって真面目に取り組む姿勢を身につけさせる。(チャイム後の立ち歩き、忘れ物、私語の追放)
 - ② 家庭学習を、計画的に、継続的にできるように指導する。
 - ③ 学習の遅れている生徒への支援・指導を工夫し、基礎学力の定着を図る。
2. 生活指導
 - ① 集団生活に必要な基本的ルールを身に付け、けじめのある生活ができるようにさせる。
 - ② 思いやりを持って他と接することができるように指導する。
 - ③ 面談などを通して生徒一人ひとりと心を通わせる努力をし、問題点や悩みなど速やかに対処し、また家庭との連絡を密に情報を共有できるようにする。
 - ④ 学年の教員全員が共通理解のもと、協力してきめ細かく指導に当たる。
 - ⑤ 生活環境の整備に心がけ、落ち着いた環境の中で生活ができるようにする。
 - ⑥ 指導が必要な場合に、すぐに対応できる学年体制を築いていく。
3. 特別活動
 - ① 班活動・係活動・委員会活動・部活動などの活動を通して、自主性や協調性・協力性を身に付けさせ、それを発展させていく。
 - ② 学校行事、学年行事に積極的に参加させ、成就感を味わわせる。
 - ③ 年2回は全員が人前で発表する機会を作り、発表能力の育成を図り自信を持たせる
 - ④ リーダーの育成に力を入れ、活動の活性化を図ると共に、生徒の自主的な活動を支援し、向上心を身に付けさせる。
4. 進路指導 職場体験と上級学校訪問を通して以下の力を養う。
 - ① 自分の学力を知り、自分の適正を知り夢を、希望を持たせる
 - ② 進路実現の夢を叶えられるよう計画を立てさせ、実行させる。
 - ③ 進路に向かって自らの生き方・具体的な進路について深く考えを深めてさせていく。
5. 道徳
 - ① 新しい友人との関係をスムーズに築けるようにさせ、他人の心の痛みを感じられるよう思いやりの心を育てる。
 - ② 言葉の大切さを理解させる。
 - ③ 社会的規範意識を育成させ、社会に貢献できるよう育てる。
6. 総合的な学習の時間
 - ① 「職場体験」に向けての取り組みを通して、社会性を身につけさせるとともに、将来の自分について考えさせ、正しい職業観を身につけさせる。
 - ② 「鎌倉校外学習」を通して、主体的に取り組む姿勢を育てるとともに、3年次の修学旅行に向けて日本の歴史、文化、伝統についてより一層理解を深める。

● 学級目標

- A組 「A え！組」
 B組 「Be ambitious！」

● 2 学年教職員

	担任	副担任	在籍数
A組	加藤清一郎	太田昌美	男子 15 名 女子 12 名
B組	石川理絵	佐藤一孝	男子 16 名 女子 12 名

● 3 1 年度 2 学年授業担当者 () は学年所属、分担時間数

国語	山下絵里加 (1 年)
社会	歴史 (1 時間) 深澤勇太 地理 (2 時間) 佐藤一孝
数学	少人数～太田昌美／高橋克爾 (3 年)
理科	佐藤友里子 (3 時間) 市橋公知 (1 時間) T T 村井達生 杉浦辰則
音楽	池庄司好美 (3 年)
美術	平野康夫 (3 年)
保体	加藤清一郎 (男子) 羽生慎 (女子 講師)
技家	嶋田勝 (技術 講師) 福島佐知子 (家庭 講師)
英語	石川理絵／原田博子 (3 年) (少人数)

● 2 年に関わる年間の行事

- 5 / 17 (金) 防災宿泊体験 ～ 18 (土)
 6 / 15 (土) 運動会 (保)
 夏休み 三者面談 (保)
 9 / 2 (月) 防災引き渡し訓練
 9 / 11 (水) 職場体験 ～ 13 (土)
 10 月～11 月 上級学校訪問 (保)
 10 / 26 (土) 学習発表会 (保)
 11 / 29 (金) 鎌倉校外学習
 12 月 三者面談 (保)
 1 / 17 (金) T G G